

園概要

昭和30年より開園し、平成28年よりきむら認定こども園として今年度10年目なる。地域とのつながりを大切に、安心と信頼を第一に保護者に寄り添いながらともに歩んでいる。

法人理念

一人ひとりの子どもが
心より愛されていると実感し
安心した日々を過ごし
生きる力、将来への夢と希望が
支えられ育まれる
子育てを通してすべての人々の
自己実現をねがい
ニーズを先駆的に取り組み
ともに歩み
未来を創っていく

私たちの価値観

- ・常に最高の教育・保育内容を学んでいきます。
- ・日々最高の教育・保育実践を追求していきます。
- ・子ども、保護者、職員、地域の笑顔を創ります。
- ・地域社会の幸せに貢献します。

私たちの目標

1. 持続的成長法人を目指します。
2. 心からのファンを持つような、地域から支持の高い法人を目指します。
3. 職員とその家族が誇れる、職員満足の高い法人を目指します。
4. 自法人らしさを大切にしていると思われる、個性あふれる法人を目指します。
5. 地域や社会からなくてはならないと思われる法人を目指します。

一人ひとりが大切にすること

- ①コミュニケーションを通して、開かれた正直な人間関係を構築しよう。
- ②チームで創り上げる力、お互い様の気持ちを育てよう。
- ③情熱と継続する意志をもちよう。
- ④成長と学びを追求しよう。
- ⑤謙虚さを忘れずに。
- ⑥変化を受け入れて、前向きに原動力としよう。
- ⑦心をオープンに、創造的に。
- ⑧笑顔と楽しさ、ちょっとした遊び心を大切にしよう。

基本理念

安心そして信頼 すべては子どもの最善の利益のために

基本方針

- ・子どもたちが望ましい未来を作り出す生きる力の基礎を培います。
- ・愛情いっぱいにあたたく受容し、信頼感や自己肯定感を育んでいきます。
- ・日光、空気、土と水を大切に、子どもが育つ場にふさわしい施設設備に努めます。
- ・一人ひとりの子が、力いっぱい、精いっぱいの生活ができる楽しい園づくりを目指します。
- ・保護者や地域の人達に好かれ、信頼され、地域の団体や諸機関にも開かれた園づくりを目指します。
- ・地域の社会の一員として園に関わるすべての人々の自己実現につながる活動を目指します。

保育目標

健康でたくましい子 友だちと仲良くできる子
自由な表現ができる子 感性が豊かな子

今年度重点的に取り組む目標

1 保育の質の向上計画

- 職員全体クレドの浸透
- ていねいな保育の実践
- ワクワク、魅力的な環境
- 一人ひとりが自園の良さを語れる風土づくり

2 保護者・地域・共育て計画

- 保育士体験全学年、全家庭参加
- 子どもの育ち、プロセスが伝わる配信の継続
- 子育て支援センター土曜日園庭開放の実施
- 地域行事への参加、交流会の実施

3 業務・オペレーション改善計画

- 心理的安全性の高い会議の実践
- 会議の質の向上
- ノンコンタクトタイム取得の継続

4 SDGs が実感できる活動の実践

- 取り組み活性化に向けて SDGs委員会の開催

| 項目 | 取組状況 |
|--|---|
| 基本理念 基本方針 保育目標を 認識し職員の 共通認識を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の朝礼で基本理念・基本方針・保育目標を読み上げ、継続的に意識づけを行う ・全体研修のテーマとして取り上げ、具体的な保育実践と結びつけながら共通理解を深める ・管理職研修において目標をより具体化し、現場での行動指針として整理・共有する ・日々の保育や振り返りの中で理念との関連を確認し、職員間で認識の統一を図る |
| 保育 教育内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども主体の保育を目指し、選択できる機会を多く設けることで意欲的な活動参加につなげた。行事は乳児部・幼児部での実施が定着した ・乳児部では担当制を継続し、一斉ではなく個々の生活リズムを尊重した保育を行った ・保育室以外の空間も活用し、子どもの遊びや活動の幅を広げる環境構成に努めた ・人権を尊重し、一人ひとりの意思を丁寧に確認し「どうしたい?」「どう思った?」と対話を重ね、気持ちに寄り添い受容する関わりを大切にしたい ・異年齢での関わりを通して思いやりや協同性を育んだ |
| 保育の質 向上の会議 研修の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招き、人権をテーマに乳児・幼児それぞれの発達や環境に応じた内容で研修を実施し、子どもを取り巻く環境への理解を深めた ・保育環境の改善についてビフォーアフターを記録として残し、実践の変化や効果を可視化するとともに、年度末に各自が取り組みをプレゼンし共有した ・キャリアアップ研修に参加し、専門性の向上を図り、学びを職員間で共有し保育の質向上につなげた ・会議前にアイスブレイクを取り入れ、職員がリラックスして意見を出しやすい環境づくりを行った ・議題共有のタイミングに課題があったため、事前周知の在り方を見直し、次年度の改善につなげる |
| 保育計画において 職員間の 共通理解を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・年間・月案・週案の作成時に、ねらいや意図を職員同士で確認し合い、共通認識を持つよう努めた ・会議や打ち合わせで計画のポイントや配慮事項(個別対応・環境構成等)を確認した ・実施後は振り返りを行い、子どもの姿と照らし合わせて次の計画に反映した ・行事や活動のねらい、役割分担を事前に共有し、保育の方向性をそろえた ・個別の配慮が必要な子どもについて、関わり方や支援方法を職員間で共有した ・全体での共通理解が難しかったが、クラス会議等を活用し、継続的かつ積極的な共有に取り組んだ |
| 危機管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災を想定した避難訓練を毎月実施し、想定を変えながら課題の抽出と改善につなげた。予告なし訓練も取り入れ、実践的な対応力の向上を図った ・防犯訓練では警察と連携し、不審者役を想定した実践形式で行い、さすまたの使い方や職員の対応力と危機意識の強化に努めた ・施設の安全点検を3か月ごと、遊具の安全点検を毎月実施し、チームリーダーが主体的に関わることで危機管理への視野を広げた ・消防署に依頼し、救急対応についてロールプレイングを交えた研修を行い、緊急時における判断力と実践力の向上を図った |
| 保護者との かかわり | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応マニュアルについて職員間で共通理解の場を設け、対応の統一と質の向上に努めた ・写真や「おうちえん」での動画、ドキュメンテーション、「さくら days」の発信を行い、保育の過程を意識した情報発信に取り組んだ ・一方で写真撮影に重点が偏り、保育負担の増加や過程の伝わりにくさが課題として挙がったため、発信方法の見直しを検討する ・保護者アンケートを実施し、園への理解やニーズの把握に努め、今後の改善につなげた ・保護者会本部役員会を通して意見交換の機会を設け、保護者の声を受け止めるとともに園の考えを丁寧に伝えた |
| 地域との交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響で延期等はあったが、長寿会との交流会を実施し、ゲームや伝承遊びを通して世代間交流を深めた ・中学校や近隣高校の生徒が授業の一環として来園し、主に幼児と関わる中で交流の機会を持った ・園外保育を積極的に行い、散歩時の挨拶など地域の方と日常的なコミュニケーションを大切にしたい ・年長児のお楽しみ会では近隣施設へ買い物に出かけ、やり取りを通して社会体験の機会とした ・地域の祭りに参加し、園関係者以外の方々とも多く関わることで地域とのつながりを深めた ・パン屋での買い物体験を行い、地域資源を活用した実践的な学びの機会を設けた ・小学校との連携として1年生との交流を計画したが、感染症の流行により安全面を考慮し中止とした ・今後は状況に応じて実施方法を検討し、円滑な接続に向けた交流の機会を確保していく |

職員一人一人が自己評価をしてみたの総合評価

- ・子どもへの関わりでは、気持ちに寄り添った丁寧な対応が多くの職員により実践されている
- ・発達や個性を踏まえた支援計画について、職員それぞれが自身の取り組みを振り返る機会となっている
- ・環境構成については、子どもが主体的に楽しめる場づくりに向けた工夫や意識が見られる
- ・地域との関わりでは、多くの職員が積極的に交流を図り、良好な関係づくりができています
- ・会議等においては、職員それぞれが意見発信について課題を持っている職員がいる

今後取り組むべき課題

- ・個別支援計画の質の向上
 - 一人ひとりの発達や特性に応じた具体的な計画立案力の強化が必要
- ・環境構成の具体化と共有
 - 子どもがワクワクする環境について、職員間で具体的なイメージや実践例を共有する仕組みづくり
- ・保育の言語化・可視化
 - 日々の関わりや意図を言語化し、他者と共有できる力の育成
- ・会議の運営改善
 - 全職員が安心して意見を発信できるような進行方法や雰囲気づくりの見直し
- ・学びの個人差への対応
 - 自己評価にばらつきがあるため、研修やフォロー体制を工夫し、全体の底上げを図る
- ・強みの継続と発展
 - 子どもへの寄り添いや地域交流といった強みを、組織としてさらに発展させていく視点の強化